

大津市民病院内視鏡（腹腔鏡・胸腔鏡）手術ガイドライン

手術をお受けになる皆様へ

腹腔鏡や胸腔鏡による内視鏡手術は、従来の手術に比べ創が小さく痛みが少ない、また入院期間が短縮できることより当院では各科が積極的に導入し、少しずつ適応範囲を広げております。ただし手術を安全に施行するには十分なトレーニングと高度な技術を必要とします。当院では手術部全体として、下に記しますガイドラインに則って医療技術の向上と医療安全管理を充実させ、医療事故防止に取り組んでいます。

主治医から内視鏡手術に関する十分な説明を受けていただき、そのリスクも十分に御理解のうえ手術を受けてくださるようお願いいたします。

大津市民病院内視鏡（腹腔鏡・胸腔鏡）手術ガイドライン

- ①手術承諾書には手術担当チーム医師名を明記し、当該手術に対する当院での手術実績を患者様に説明する。
- ②内視鏡手術には開胸・開腹手術にはない特有の技術と知識を必要とする。内視鏡手術専門のトレーニングを受けた医師が少なくとも一名、担当医として手術に参加することが望ましい。
- ③術中出血量や経過時間などで、手術担当チームと麻酔科医による相談のうえ内視鏡手術の継続が困難と判断した場合には、速やかに開胸・開腹手術に変更する。
- ③ その他、安全性の確保のために必要な規程は各科ごとに別に定める。

2013年12月 大津市民病院 手術部